

地域包括ケア病棟が始まります

高齢者が増え、医療や介護のさらなる充実が急務となっています。そんな中、高齢になっても、住み慣れた地域で自分らしい人生を最期まで続けることができるようにする仕組みを整えることが求められています。

これは「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」を一体として捉え、利用者のニーズに合わせて切れ目のない支援をしようというものです。

その仕組みを「地域包括ケアシステム」といいます。

「医療」においては、体制を支える病院の充実が求められます。蒲郡市では、市民病院がその役割の中心を担い、病気や怪我の治療はもちろん、今後は、病院から自宅へ復帰するときのサポートを行う「地域包括ケア病棟」の運用が始まります。

地域包括ケアシステムイメージ

高齢者の住む地域の中で、地域の特色を生かしながら「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が一体となった福祉サービスを作り上げていきます。

地域のニーズに合った
病院体制を目指す

医療

病気や怪我をしたらかかりつけ医・救急病院への通院・入院など



介護

生活に助けが必要な在宅介護サービス
施設・居住介護サービス など



住まい

生活の基盤

自宅、高齢者向け住居など



予防

いつまでも元気に暮らすため、活動の場を作る

地域活動、ボランティアなどに参加する
適度な運動をしたり、予防教室に参加する



生活支援



地域包括 支援センター ケアマネージャー

相談の受け付け
サービスのコーディネーター



市民病院 ☎ 66・2200